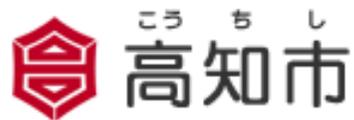


# 新図書館西敷地利活用事業に関する 市民説明会

平成30年10月





# (1) 中心市街地のまちづくり

# 1-1 高知市都市計画マスタープラン(2003)[計画期間:平成15年度～平成32年度]

## 土地利用



地域区分	土地利用区分	土地利用方針
都心	住居系土地利用	○生活の利便性が高く、快適な居住環境を有する都心型住宅地として土地利用を進める。
	商業・業務系土地利用	○土地の高度利用を図り、商業・業務機能の高度化を推進する。
既成市街地	住居系土地利用	○市街地内の低・未利用地の活用により新たな宅地需要に対応するとともに、面的整備等による居住環境の向上を図る。
	商業・業務系土地利用	○地域生活に対応した広域商業・業務圏の中心地区として、中核的な商業機能の集積と拡大強化を図るため都市機能の更新・活性化を図る。
	工業系土地利用	○住工混在が見られる地域においては、住居系土地利用との分離を図りながら用途純化に努める。
	自然的土地利用	○市街地内に残された貴重な資源として、人々の憩いやうおいの空間として積極的に保全する。
周辺市街地	住居系土地利用	○農業集落地域や市街地近郊の自然環境に恵まれた地区では、地区計画を活用し良好な住環境の形成と豊かな自然環境の保全に努める。
	商業・業務系土地利用	○日常生活圏に配慮し、地域へのサービスを中心とした商業・業務施設の集積を推進し、生活利便性の向上を図る。 ○幹線道路沿道における沿道型サービス施設や大規模商業施設の立地については、交通・環境問題など周辺環境に配慮する。 ○流通業務地については、陸・海・空の広域交通ネットワークを活用し、物流の広域・高速化に対応した流通機能の強化に努める。
	工業系土地利用	○工業集積の高い地区では、工業生産基盤の整備を推進するとともに、公害防止と優れた生産環境の整備に努める。 ○高知新港周辺は、陸・海・空の交流拠点の特徴を活かし、流通業務機能の集積に努める。
	自然的土地利用	○市街地の無秩序な拡大を抑制し、農地の保全に努める。 ○市街地に残された貴重な自然を積極的に保全する。 ○自然環境の維持・保全に努めるとともに、人と自然のふれあい・憩いの場としての活用を図る。
自然地域	自然的土地利用	○自然環境の維持・保全に努める。

### 土地利用の整備方針

都市周辺部においては開発を抑制し、里山や農地の保全を図るとともに、既成市街地においては、業務の集積と居住を誘導します。

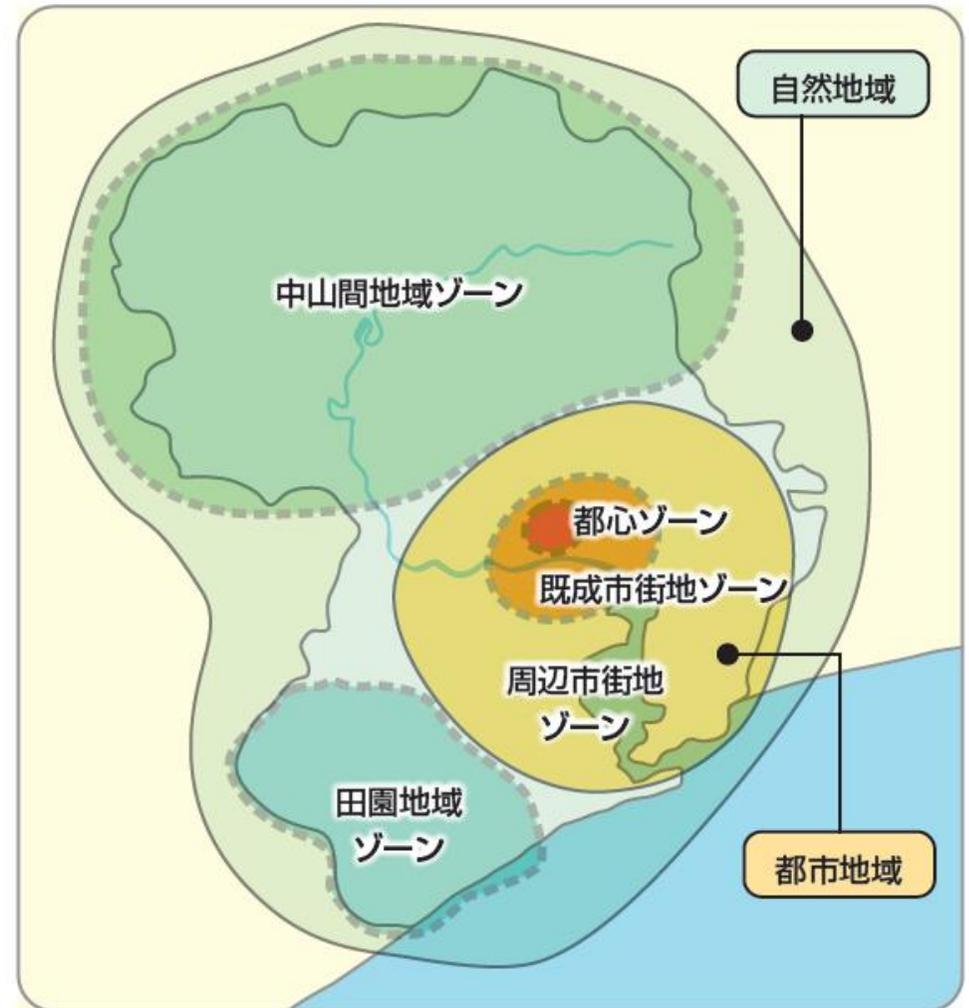


# 1-2 高知市都市計画マスタープラン(2014)[計画期間:平成26年度～平成42年度]

## <地域ごとの土地利用方針>

ゾーニング	区分	方針
都心	商業・業務系土地利用	・県都の広域拠点であるとともに、本市の中心的な商業・業務地であることから、城下町の景観に配慮しつつ、土地の有効利用・高度利用を進め、既存機能の更新やさらなる商業・業務機能の集積・誘導を促進します。また、都市緑化の推進や観光との連携により、集客交流機能の強化によるぎわいの再生を図ります。
	住居系土地利用	・日常生活に必要な利便施設などの集積や低未利用地の有効活用などを促進し、良好な住環境の形成を図り、人口の定着や集積を進めます。 ・防災上危険な密集住宅地については、土地区画整理事業などにより都市基盤の整備を推進し、安全で快適な住環境の創出に努めます。
既成市街地	商業・業務系土地利用	・地域生活に対応した商業・業務圏の拠点として、商業・業務機能の集積と拡大強化を図るため都市機能の更新・活性化を図り、利便性の向上に努めます。
	工業系土地利用	・住宅や工場など用途が混在しているなかで、良好な住環境が保全されている地区については、職住近接地として利便性の維持・向上に努めます。
周辺市街地	住居系土地利用	・日常生活圏に必要な利便施設の集積などにより、居住環境の維持に努めます。 ・農業集落地域や市街地近郊の自然環境に恵まれた地区では、地区計画を活用し、環境に配慮したゆとりのある住環境の形成を図ります。 ・地震・津波災害や山崩れが予想される地区については、ハザードマップ等によりあらかじめ災害リスクの情報を周知します。
	商業・業務系土地利用	・日常生活に必要な利便施設の集積などにより、日常生活圏の維持に努めます。 ・物流や交流の拠点となり安全・安心が確保できる幹線道路の沿道においては、広域的な産業振興につながる施設の立地について検討します。 ・既存の流通業務団地や弘化台、高知新港などの産業拠点については、陸・海・空の交通ネットワークを有効に活用しながら、流通機能の強化を図ります。
	工業系土地利用	・工業集積の高い地区では工業生産基盤の整備を推進するとともに、陸・海・空の交通ネットワークを有効活用することで、工業施設の集積、産業構造の変化に対応した工業の高度化や多様化、産業活動の効率化などの機能強化を図ります。 ・今後の工業地需要の増加に対しては、既存の工業団地等を活用するほか、安全な事業活動の確保の観点から、地区計画制度による新たな工業団地の形成を促進します。
	田園地域	

## 土地利用のゾーニング



# 2-1 高知市中心市街地活性化基本計画[計画期間:平成24年12月～平成30年3月]

## <第一期計画の成果>

新しい街なか暮らし方を実感  
できる基盤を充実させる

- ①新図書館等複合施設の整備  
(愛称「オーテピア」)

<H.30年7月24日オープン>

県立図書館、市民図書館は狭隘化や老朽化が進んでおり、「幹としての巨大書庫の導入」、「枝としての広大な開架閲覧室の展開」、「課題解決支援サービスの展開」等を目指した「知の樹の展開」を図る**県市合築の図書館を整備**する。



- ②新資料館整備事業  
(高知城歴史博物館)

<H.29年3月オープン>

山内家資料を中心に戦国時代から明治までの**高知の歴史を概観できる教育文化施設を整備**した。



- ③新庁舎建設事業

<H.31年8月完成予定>

狭隘化や老朽化、庁舎の分散など多くの課題を解消するため、**現在地で建て替えを行う**とともに、災害時の災害対応拠点機能の確保や市民が気軽に利用できるスペースを整備する。



- ④帯屋町二丁目地区優良建築物等整備事業(帯屋町チェントロ)

<H.27年8月オープン>

新たな街なか暮らしを支える店舗や中心市街地への来街者を創出するため、**物販・オフィス・生活支援サービス施設等多機能を備える住宅を整備**した。



街なかの回遊性を向上させる

- ⑤よさこい情報発信機能強化事業  
(高知よさこい情報交流館)

はりまや橋周辺を拠点として、**よさこいをテーマとした展示、イベントの開催**など、高知の生活文化を広く内外へ発信する機能を強化した。



- ⑥アーケードリニューアル事業

施設の劣化が進み採光性や照度の劣る**アーケードをリニューアル**し、来街者が安心・安全に買い物できる環境を向上させた。



# 2-2 高知市中心市街地活性化基本計画[計画期間:平成30年度～平成34年度]

## <第二期計画>

コンセプト

～地域資源の魅力が織り成す、「暮らし」と「交流」の調和したまち～

### 【中心市街地の課題等】

- 人口自然減に伴う居住人口の減少
- 歩行者通行量の偏在化
- 国内外からの来街者への対応



### 目標1

「すべての世代が永く住み続けられるまち」の実現

<数値目標>

中心市街地の居住人口の割合  
H28:1.52% ⇒H34:1.65%

### 目標2

「多くの人が回遊するまち」の実現

<数値目標>

歩行者通行量（17地点・平日休日合計）  
H28:119,447人 ⇒H34:123,278人

### 目標3

「また訪れたいと思うまち」の実現

<数値目標>

拠点施設入館者数  
H28:1,159,555人 ⇒H34:1,748,000人

### 【計画区域と主な事業】

#### オーテピアにおけるソフト事業

多目的広場を活用したイベント開催、商店街・日曜市と連携した取組等により、賑わいの創出を図る。



#### 藤並公園整備事業

高知城に隣接する藤並公園について、自然環境を保護しながら、市民や観光客の憩いの場として再整備を行う。

#### 丸ノ内緑地整備事業

高知城に隣接する丸ノ内緑地について、長寿命化対策を行うとともに、市民や観光客の憩いの場・イベントスペース等として活用できるようなリノベーションを実施する。



中心市街地領域：約143ha



#### （仮称）帯屋町一丁目地区複合施設整備事業

商業店舗や子育て支援施設等と共同住宅の複合施設の整備により、居住人口の確保及び回遊性の向上を図る。



#### 横堀公園整備事業

新堀川沿いの水辺景観を活かした、市民の憩いの場としての再整備を行う。

#### 観光案内所整備事業

中心商店街内に外国語対応可能な観光案内所を新たに整備するとともに、パンフレットの多言語化、観光情報の提供により外国人観光客の誘客促進を図る。

#### 高知大丸リニューアル事業

高知大丸東館の全面改装、地元商店街と連携したポイントカードの導入等により、商業活性化及び集客力向上を図る。



#### 高知よさこい情報交流館運営事業

よさこいをテーマとした展示・情報発信・演舞披露等の拡充により、来街者増加を促進。



#### レンタサイクル事業

中心市街地内を快適に回遊できるレンタサイクルの導入、回遊性向上のためのソフト事業実施等

#### 創業支援情報発信事業

商店街等と連携し、空き店舗情報や創業支援制度等の情報を一元化したホームページによる情報発信

# 3-1 中心市街地エリアの都市公園の利活用

2016高知市緑の基本計画[計画期間:平成27年度～平成47年度]

《将来像》 森・まち・田園を水と人の環でつなぐ 安全でにぎわいのあるまち

## 基本方針

- 1 自然を守り，様々な生物と共生する（環境保全）
- 2 多様なニーズに対応する緑を創出し，交流する（レクリエーション）
- 3 安全・安心な緑で包む（防災）
- 4 協働でうるおいある緑を育む（景観）
- 5 緑をつなぎまちのイメージを高める（にぎわい）

## 実施方針

みんなで支える緑のまち（市民との協働）

	分類	平成27年 (現状値)	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年 (目標値)
1) 緑視率	平均(55地点)	22.9%	24.3%	24.7%	25.0%	25.2%
2) 緑地面積 (地域制緑地+施設緑地)	都市計画区域	11,467.2ha (68.2%)	11,473.2ha (68.3%)	11,476.6ha (68.3%)	11,491.8ha (68.4%)	11,513.3ha (68.5%)
	市街化区域	457.1ha (9.0%)	463.1ha (9.1%)	466.6ha (9.2%)	481.7ha (9.5%)	503.2ha (9.9%)
3) 緑被率	都市計画区域	2,454.5ha (14.6%)	2,458.2ha (14.6%)	2,460.5ha (14.6%)	2,469.7ha (14.7%)	2,482.8ha (14.8%)
	市街化区域	154.2ha (3.0%)	157.9ha (3.1%)	160.2ha (3.2%)	169.4ha (3.3%)	182.5ha (3.6%)
4) 一人当たり 都市公園面積	都市公園	<b>8.0㎡</b> (264.4ha)	8.2㎡ (270.4ha)	8.5㎡ (273.9ha)	9.1㎡ (289.0ha)	<b>10.0㎡</b> (310.5ha)



# 3-3 中心市街地エリアの都市公園の利活用(整備構想の検討)

## <事業内容>

中心市街地活性化区域の西エリアの丸ノ内緑地と藤並公園及びはりまや町一宮線の整備に関連する横堀公園について、イベント等が開催できる機能や、周辺環境に配慮した憩いの場の機能を確保するなどの公園リニューアルを行い、中心市街地における回遊性の創出とにぎわいのあるまちづくりを図る。

## 中心市街地都市公園の現状と課題

### 1 丸ノ内緑地・藤並公園の老朽化

公園名	設置	再整備
丸ノ内緑地	S51	-
藤並公園	S37	-
中央公園	S32	H2
帯屋町公園	S26	H5
追手前公園	S25	H8

- 丸ノ内緑地、藤並公園は、開設以来大規模な改修を行っていないことから老朽化しており、早急な再整備を必要としている。
- 中心市街地活性化区域西エリアに位置し、高知城等魅力ある立地特性に関わらず、オープンスペースとしての公園利用が進まないなど活用されていない状況にある。

### 2 横堀公園の再整備

- 現在進められている都市計画道路はりまや町一宮線と連携した再整備を必要としている。

### 3 中心市街地活性化の役割を担う再整備

～中心市街地活性化の目標～(中心市街地活性化基本計画)

- 目標①「すべての世代が永く住み続けられるまち」の実現
- 目標②「多くの人が回遊するまち」の実現
- 目標③「また訪れたいと思うまち」の実現

## 中心市街地内都市公園の整備方針

### > 量的から質的充足への転換

- 歴史・文化の活用  
⇒高知城等を活用した公園のリノベーション
- 街なかで楽しく過ごせる環境  
⇒各種イベント等の開催などによる新たな公園の利活用
- 回遊軸の強化の推進  
⇒横堀公園～中央公園～藤並公園・丸ノ内緑地～高知城



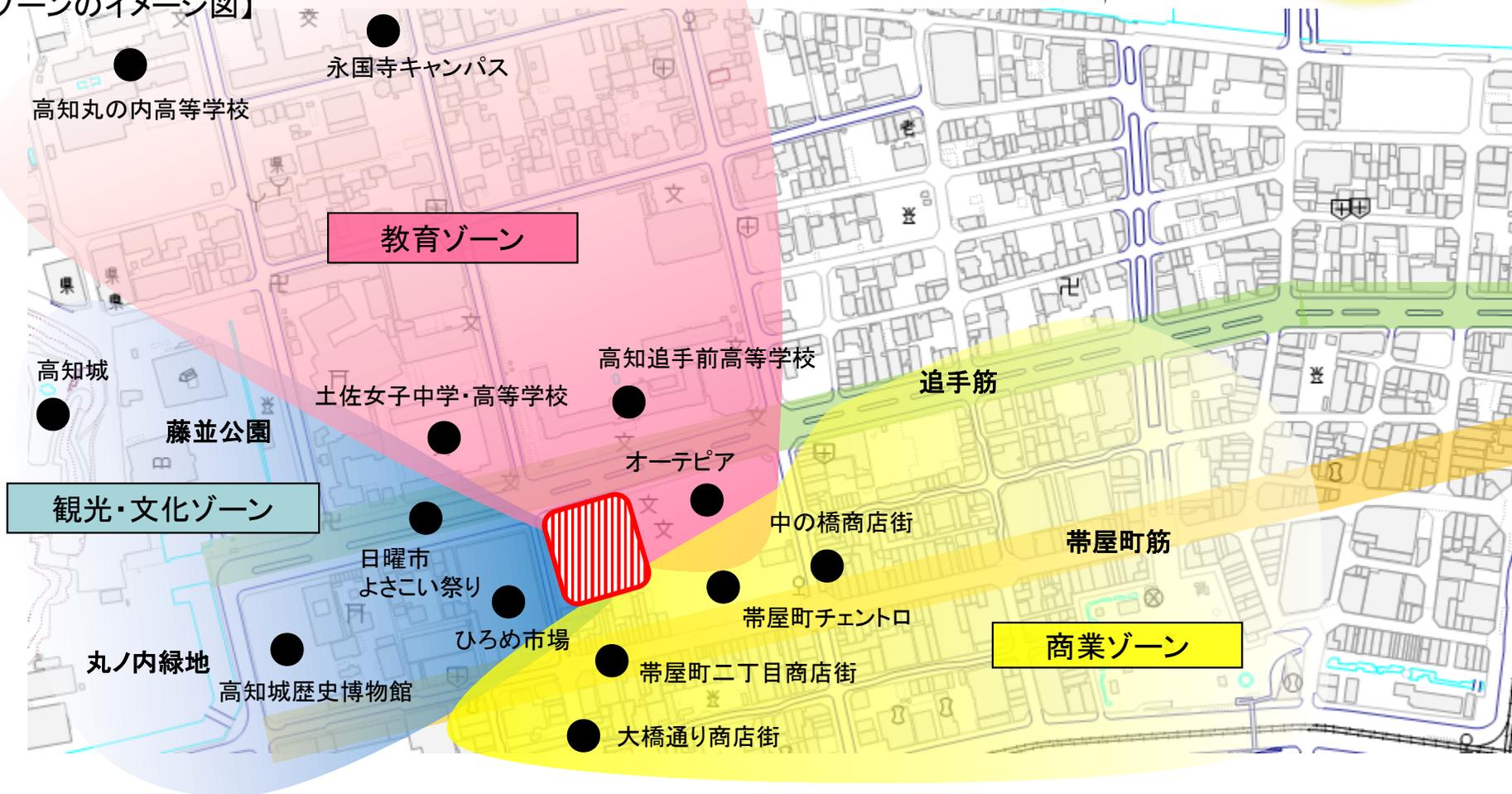
## (2) 新図書館西敷地利活用事業の検討経過

# 1 立地特性

- ★観光・文化ゾーン、商業ゾーン、教育ゾーンが交差
- ★日曜市やよさこい祭り本部競演場となる追手筋に接道。(北側)
- ★中の橋商店街とひろめ市場をつなぐ遊歩道に面する。(南側)
- ★オーテピア多目的広場に接する。(東側)

中心市街地の活性化を図るうえで、核となる機能を配置するにふさわしい立地特性を持つ

【ゾーンのイメージ図】



## 2-1 これまでの検討経過

### 追手前小学校西敷地土地利用検討部会 中間報告(平成23年11月)

#### ○土地利用の方向性

【コンセプト】 “よさこい文化を発信するエリア”

【施設内容】 広場・施設

【広場】:隣接する多目的広場と繋がるよう西敷地にも広場を設け、様々な利用ができる快適な憩い空間を創出する

【施設】:よさこい文化を発信する機能を中心にした施設(①単独, ②小規模複合, ③大規模複合)

【取り組み方】民間活力の活用

【民間活力活用の趣旨】

○厳しい財政状況の中、民間資金を活用して整備・運営を行う

○民間のノウハウを活用し、イニシャル、ランニングコストの節減を図る

○導入機能は採算性の低い施設であることから、収益性の高い施設との複合施設とし、全体事業費の低減を図る

○民間のノウハウにより、サービス水準を高める

#### ○実現に向けたスケジュール

【西敷地の土地利用】 新図書館整備中:広場 ⇒ 新図書館完成後:広場+施設

## 2-2 これまでの検討経過(中心市街地活性化基本計画)

<b>第1期 計画期間</b> H24年12月 ~ H30年3月	登載項目 (3項目)	事業名、内容及び 実施時期	実施 主体	中心市街地の活性化を実現する ための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の 内容及び実施時期	その他 の事項
	・市街地の整備改善のための事業	【事業名】 賑わい広場整備事業(西敷地)	高知市 民間	買物途中に休憩ができる芝生広場や、イベント空間となる場の整備により、気軽に市街地へ訪れることができるとともに、多様な人材が集まり楽しみ、快適に楽しく回遊できるようにするものである。 よって、「新しい街なかの暮らし方を実感できる基盤を充実させる」「街なかの回遊性を向上させる」ために必要な事業である。	【措置の内容】 未定	検討部 会にお いて検 討中
	・都市福祉施設を整備する事業	【内容】 追手前小学校敷地のうち新図書館等複合施設以外の場所で、自由度の高い利用が可能な賑わい広場などを整備			【実施時期】 —	
・商業の活性化のための事業	【実施時期】 平成 25~29 年度					



当初は、今後の西敷地の利活用方法の幅を勘案し、3項目に登載した中で、平成30年度3月までの計画期間内に具体的な事業内容を検討するとして、新図書館完成までの間は広場として活用する予定として事業登載したが、新図書館の建設事務所や仮設市民図書館として活用することとなったため、工事期間中の広場整備は行わないこととしました。

<b>第2期 計画期間</b> H30年4月 ~ H35年3月	登載項目	事業名、内容及び 実施時期	実施 主体	中心市街地の活性化を実現する ための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の 内容及び実施時期	その他 の事項
	・市街地の整備改善のための事業	【事業名】 オーテピア西敷地利活用事業	高知市 民間	現在、仮設市民図書館となっている中心市街地の市有地を活用することにより、新たな中心市街地の魅力、滞留拠点などを創出し、来街者の増加、回遊性の向上を促進する。 よって、「『すべての世代が永く住み続けられるまち』の実現」、「『多くの人が回遊するまち』の実現」、「『また訪れたいと思うまち』の実現」に必要な事業である。	【措置の内容】 未定	プロポ ーザル 方式に より活 用策を 選定す る。
	【内容】 オーテピアに隣接する市有地を活用した中心市街地活性化の実施	【実施時期】 平成 25~34 年度			【実施時期】 未定	

# 2-3 これまでの検討経過

## 新図書館西敷地利活用検討委員会 報告書(平成29年2月)

西敷地の内外環境をSWOT分析の手法を用いて分析し、基本コンセプトを「賑わいふれあう“ホッとストップ”」とした上で、11項目のふさわしい機能を抽出したうえで11項目の機能について市民3,000人を対象にアンケート(回収率38.9%)等を実施し、市民等の意向や中活計画との関連性などの視点から、A評価を4機能、B評価を3機能、C評価を4機能として整理。

クロスSWOT分析から得られた機能		市民アンケートで使用した機能		評価点	総合評価	
		項目	例示			
積極 攻勢	都会などのアクティブシニアと高知の若者をつなげる地域交流機能を設ける	高知の若者と都会などから移住してきた高齢者などが交流できる機能	市民学生交流プラザや移住者向け地域交流拠点など	82.5	C	
	優れた立地環境を活かし雇用を創出する	若者に魅力ある働く場をつくる	誘致企業向けオフィスフロアなど	84.1	C	
	図書館を核に重点地区の官民協働によるエリアマネジメントに取り組む	「削除(機能ではなく運営手法のため)」				
	教育機関の連携や一層の充実を図る	教育機関の拡充や連携を図る機能	県内大学等の連携やサテライト教育研究施設など	82.6	C	
	学生など若者が集い、若者文化の情報発信拠点とする	若者の文化や街の情報を発信する機能	ネット配信スタジオ、メディアセンター、ミニシアターなど	97.8	B	
	メディアセンターを設置し、おまちの情報を発信する	高知の城下町を再現する機能	古い城下町を再現した風情ある商業施設など	93.9	B	
	歴史的資産を活用し、現代風のお城下町を再現する	観光客のリピーターを増やすことができる機能	観光総合案内や地場産品を取扱う物産店など	102.5	A	
	観光資源を活かし、国内外からの観光客のリピーターを獲得する	街への移動に不便を感じている高齢者や障がい者、学生等が利用できる機能	外出支援サービスを行う施設や駐輪場など	92.0	B	
	車を利用しない学生や高齢者等をターゲットとする施設や空間	日曜日やよさこい祭りに関連する施設整備や空間利用	よさこい体験施設や日曜日散策休憩スペースなど	101.8	A	
	日曜日やよさこい祭りに関連する施設整備や空間利用	家族で訪れて、子どもが安全に遊ぶことができるエリアの創出	ものづくりやお仕事等の体験型テーマパークや体を動かす屋内遊び場など	103.2	A	
	家族で訪れて、子どもが安全に遊ぶことができるエリアの創出	郊外の大型商業施設にはない機能	ペットモール、キッチンスタジオ、体験型スポーツ施設など	81.2	C	
差 別 化	県外や郊外の大型商業施設にはない機能の導入	広場機能	災害発生時に避難できる広場など	104.0	A	
弱 点 強 化	災害発生時、一時避難できる街なか広場					

## 2-4 これまでの検討経過

### 新図書館西敷地利活用事業 基本方針(平成29年7月)

- (1) 中心市街地の活性化に効果的な整備
- (2) 貸付による民間活力の活用
- (3) 公募型プロポーザルによる実施候補者の選定

＜A評価の4機能＞ 4機能の中から、2つ以上の機能を導入することが必須条件

#### ●広場機能

自由に活用できる空間を作ることにより、都市の豊かさを体感できることや、来街者の滞留時間の増加が期待できるなど、街なかの地域資源を楽しめる環境づくりや歩行者通行量の増加に効果が見込めます。

#### ●家族で訪れて、子どもが安全に遊ぶことができる機能

子育て世代などが中心市街地へ訪れるための新たな地域資源として期待ができることや、中心市街地における既存機能との重複がないなど、街なかの地域資源を楽しめる環境づくりや中活計画エリア内における新規性に効果が見込めます。

#### ●観光客のリピーターを増やすことができる機能

高知独自の歴史・文化を活用し、新しい生活文化を発信することができることや、観光客の増加により賑わい、歩行者通行量の増加、回遊性の向上が見込めるなど、土佐の気風や歴史・文化性の活用や街なかの地域資源を楽しめる環境づくりに効果が見込めます。

#### ●日曜日やよさこい祭りを充実、発展させるための機能

歴史を持つ日曜日と全国的に知名度の高いよさこいを活用することで、高知らしい文化を発信することができることや、来街者、特に観光客の増加により、賑わいや回遊性の向上が見込めるなど、土佐の気風や歴史・文化性の活用や街なかの地域資源を楽しめる環境づくりに効果が見込めます。

## 2-5 これまでの検討経過

- 平成29年8月 第1回新図書館西敷地利活用事業プロポーザル選定委員会  
(募集要領の検討)
- 平成30年1月 第2回新図書館西敷地利活用事業プロポーザル選定委員会  
(プレゼンテーション及び審査)
- 平成30年1月 新図書館西敷地利活用事業プロポーザル選定委員会答申書 受理
- 平成30年1月 優先交渉権者決定
- 平成30年2月 庁内に新図書館西敷地利活用事業基本協定締結に係る  
妥当性検討委員会 設置(平成30年7月11日報告)
- 平成30年9月 新図書館西敷地利活用事業 方向性決定

### (3) 優先交渉権者の事業提案内容

# 新図書館西敷地利活用事業 事業提案書(抜粋)

## 【使用資料】

- P18・・・ 表紙
- P19・・・ 1. 事業コンセプト
- P20・・・ 2. 事業効果
- P21・・・ 3. 具体的な提案 PLAN-1
- P22・・・ 3. 具体的な提案 PLAN-2
- P23・・・ 3. 具体的な提案 PLAN-3
- P24・・・ 6. 本施設の整備計画
- P25・・・ 全体配置計画-1
- P26・・・ 全体配置計画-2
  - ※全体配置計画は現時点での予定のため変更の場合あり。
- P27・・・ 全体外観パース
  - ※外観は現時点でのイメージ図のため変更の場合あり。
- P28・・・ 全体断面図
  - ※全体断面図は現時点での予定のため変更の場合あり。
- P29・・・ <資料>用語説明

# 新図書館西敷地利活用事業 事業提案書



## 1. 事業コンセプト

### 県都高知市に、地域イノベーションを創発するプラットフォームが誕生！

新図書館の多目的広場と一体化したゆとりある「広場機能」に加えて、周辺施設や中心商店街などの回遊性を高めることで、観光やショッピングだけでなく、“新たな魅力の発見”が生まれる。

高知大学地域連携推進センターの誘致や大学のサテライトキャンパスとしての機能を付加することによって、県都高知市の「知の集積」は一層強化され“地域イノベーションの創発拠点”としてより高度に発展する。



## 2. 事業効果

1. “安全で安心”な徒歩による回遊空間が誕生し、交流人口と滞在時間が増加。  
街に新しい魅力が生まれ、生活を楽しむ空間としての「広場機能」が充実。
2. 単なる空間としての「広場」にとどまらず、新図書館多目的広場と一体化した広場  
と、周辺の路地空間とがつながり、中心商店街への新しい回遊性が生まれる。
3. 高知大学地域連携推進センターの誘致や大学のサテライトキャンパスとしての機能  
を付加。県都高知市の“知の集積”を強化することで、国の地方創生関連政策との調和による地域経済活性化を実現する。
4. 学生からシニア世代まで、多様な学びを通して世代間交流を図り、新しい発想による民間の活力を最大限に活かす地域経済の活性化を推進。
5. 都市部からのアクティブシニア、U・ターン者などを受け入れ、「高知県版CCRC  
※1」のゲートウェイとなる。

※1 用語説明は19ページ参照



## 3. 事業内容

### PLAN-1

#### 導入機能

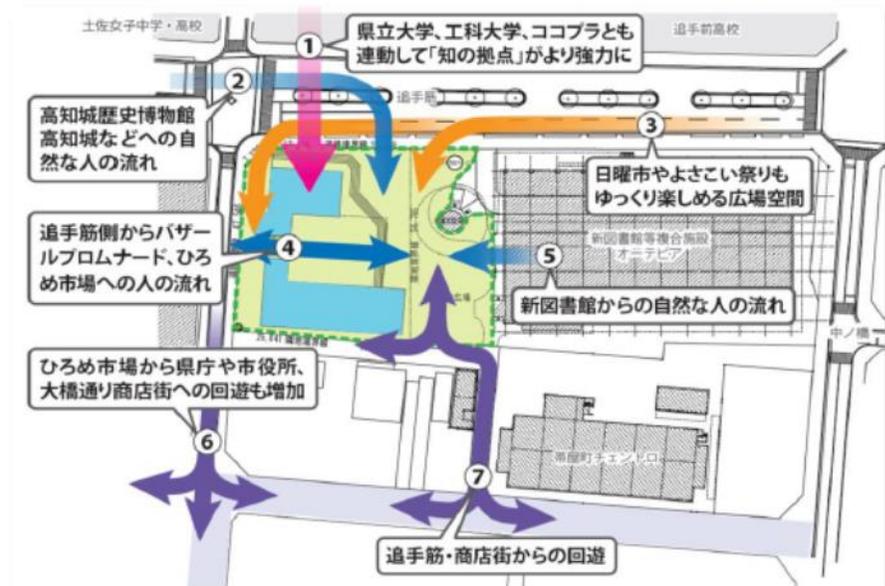
- 広場機能
- 家族で訪れて、子どもが安全に遊ぶことができる機能
- 観光客のリピーターを増やすことができる機能
- 日曜日やよさこい祭りを充実、発展させるための機能

新たに充実する「広場」の誕生によって、中心商店街と歴史・文化施設がつながり、徒歩で回遊できる安心安全な中核エリアが誕生する。この“回路”によって新しい人の流れが生まれ観光客や地域の人たちとの交流が、これまではなかった、魅力あふれる“情報の広場”に発展する。

#### <具体的な内容>

- 新図書館の多目的広場と一体的に活用することで、中心商店街とつながる安心安全な、ゆとりの「多目的広場」が誕生
  - 日曜日やよさこい祭り、また各地の多様な文化イベントなどを取り込み、楽しさ、憩い、それぞれ寛ぎの時間を過ごす“広場”として活用
- 高知城歴史博物館や日曜日、よさこい祭りなどの観光資源や中央公園とも融合した、中心街の連携空間を創出
  - 周辺の文化・歴史施設および商店街との“回遊性”を重視した広場は、学生や市民の様々なイベントや発信の場でもある
  - 子どもや高齢者、観光客も安心して楽しめる「情報の広場」
- 南北に抜ける回路は、追手筋から商店街、大橋通り商店街、おびさんロードまで町歩きを楽しめ、交流人口と滞在時間が増加
  - 広場から路地へ、回遊性を楽しみ、魅力的な徒歩での散策が楽しめる
  - 広場から中心商店街にぬける遊歩道は、商店街の新しい魅力の誕生と発見の出会いをつなぐ

#### ■ 新たな人と情報の流れ



#### ■ 追手筋と中心商店街をつなぐ回遊性



# PLAN-2



- 若者の文化や街の情報を発信する機能
- 街への移動に不便を感じている高齢者や障がい者、学生等が利用できる機能
- 若者に魅力ある働く場をつくる
- 教育機関の拡充や連携を図る機能

高知市中心市街地の“知の集積”を強化し、ココプラ等との相乗効果を高めるため、高知大学及び同地域連携推進センターを誘致することで、大学のサテライトキャンパスとしての機能を付加する。これによって産業振興や人材育成を図り、学生からシニア世代を対象とした多様な学びをこの地で展開することで、地域経済の活性化につなげる。

## <具体的な内容>

### ■ 地域イノベーション創発のためのプラットフォームを構築

- 大学のシーズをビジネスに活かし、シニア層の知見・経験を地域の活力として取り込み、高知の新たな魅力や価値を生み出すベンチャー創発機能の核となる
- 大学が近隣自治体と連携し、地域コミュニティの中核的存在として教育、研究、地域貢献に取り組み、地方創生推進の役割を担う
- 地域の課題解決に資する専門的な社会人養成プログラム(食品産業、観光等)を実施し、中核となる人材を育成する

### 計画施設



朝倉キャンパスより  
教育研究機能を一部移転

**高知県産学官民連携センター  
(ココプラ)**

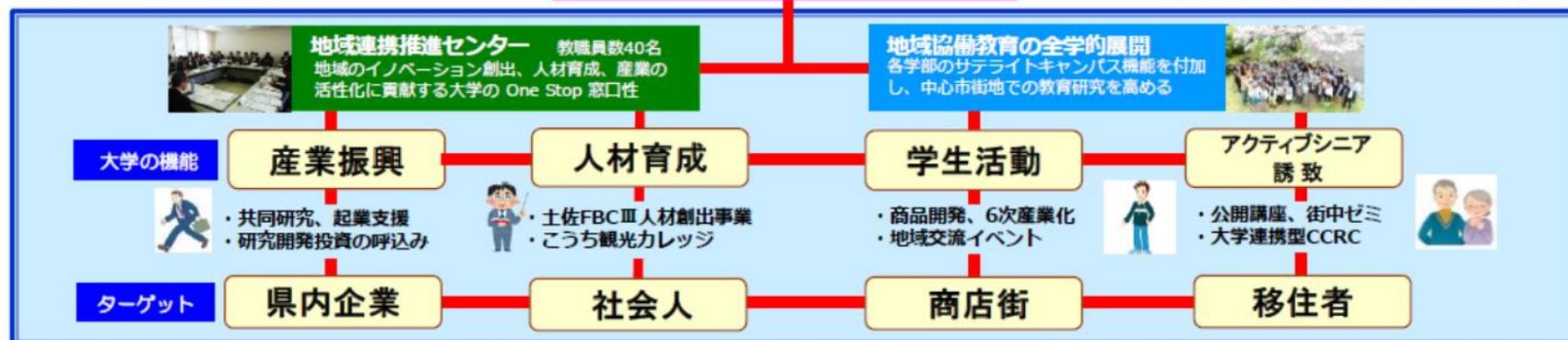
高知県立大学、高知工科大学、高知大学、高知県職員が常駐産業振興、地域の課題解決を図る **知・人材育成・交流** の拠点

**ココプラの機能強化**

数多くの高知大学研究者、学生が中心市街地に常駐することで、知の拠点としての機能の機能が強化され、県内高等教育機関等との連携も促進される



## <高知大学の役割>



## PLAN-3

## 導入機能

- 高知の若者と都会などから移住してきた高齢者などが交流できる機能
- 郊外の大型商業施設にはない機能

## アクティブシニアや移住者の誘致など、国策に沿って推進される「高知県版CCRC」「連携中枢都市圏構想※2」のゲートウェイ。

### <具体的な内容>

#### ■高知県版CCRC・連携中枢都市圏構想のゲートウェイとなる賃貸住居

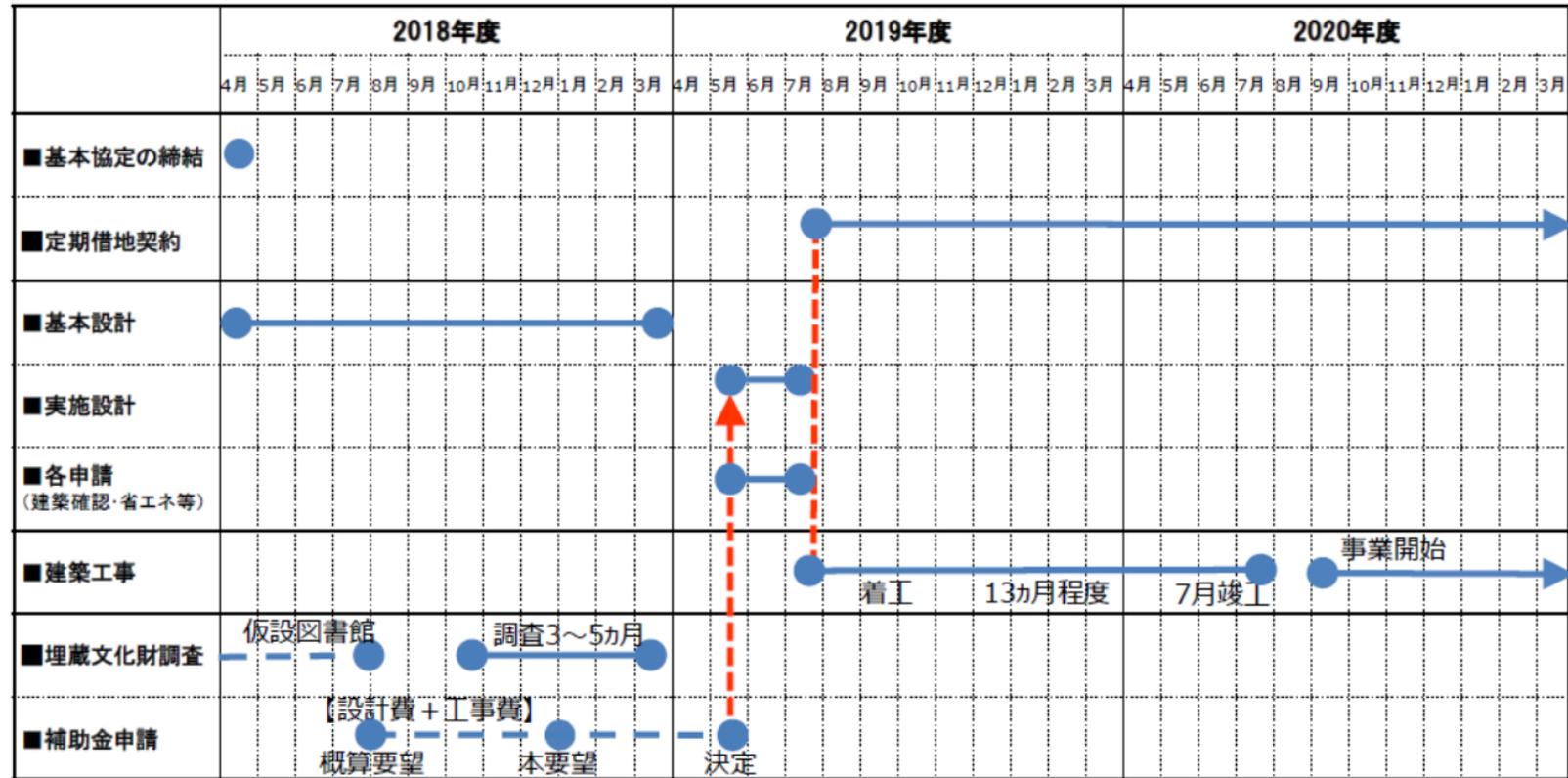
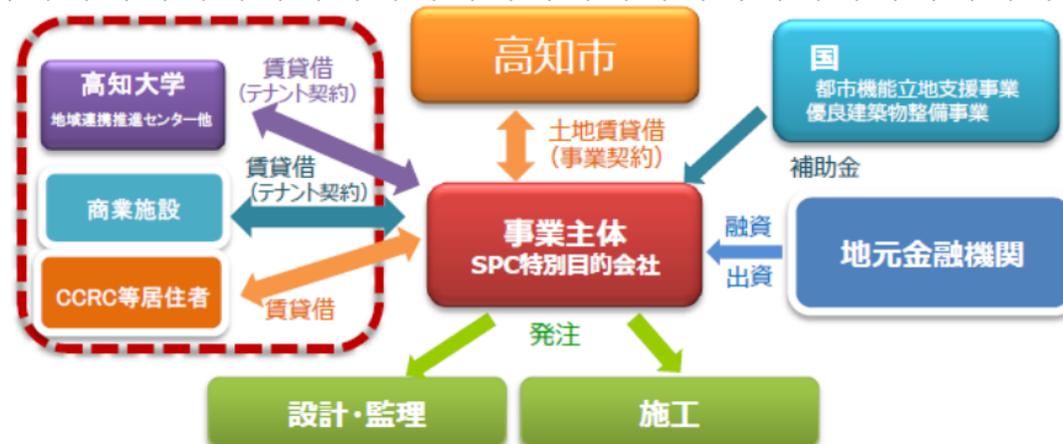
- 東京などの都市部から、新たなビジネス展開や起業を目指す移住者など、活力ある人々を受け入れ、経済の活性化及び高知市の人口維持を可能とする、高知県版CCRCのゲートウェイとなる
- 国の地方交付税措置を活用する連携中枢都市圏構想の拠点として、人や情報の交流を図りアクティブシニアなど、外部からの移住者受け入れることで「高次都市機能の集積・強化」を実現する
- 移住者の受け入れにおいては、まず中心市街地で生活しながら必要な情報収集や有機的な人間関係を実現し、二段階移住を推進する
- 高知県版CCRCを実現するためにも、居住者の大学教育、研究への参加を要件とする事を想定する

※2 用語説明は19ページ参照



追手筋側からバザールプロムナード、帯屋町商店街を望む

## 6. 本施設の整備計画(事業スケジュール)

施設整備計画  
(体系イメージ図)



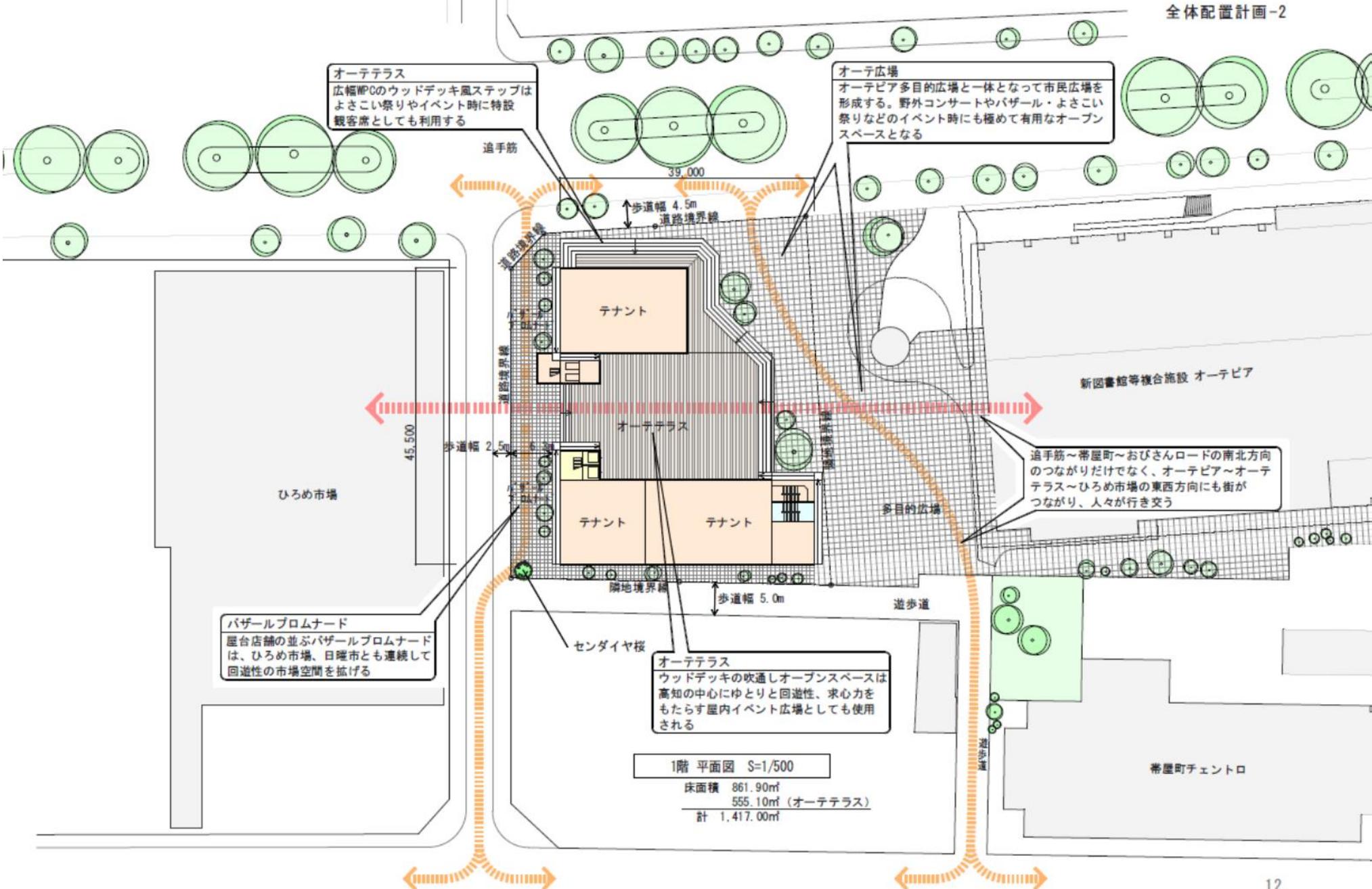
全体配置計画-1

- 導入機能
- 広場機能
  - 家族で訪れて、子どもが安全に遊ぶことができる機能
  - 観光客のリピーターを増やすことができる機能
  - 日曜市やよさこい祭りを充実、発展させるための機能
  - 若者の文化や街の情報を発信する機能
  - 街への移動に不便を感じている高齢者や障がい者、学生等が利用できる機能
  - 若者に魅力ある働く場をつくる
  - 教育機関の拡充や連携を図る機能
  - 高知の若者と都会などから移住してきた高齢者などが交流できる機能
  - 郊外の大型商業施設にはない機能

面積表

■ 敷地面積	2,564.06㎡
■ 建築面積	1,422.85㎡
■ 延床面積	11,952.85㎡

全体配置図 S=1/800



**オーテテラス**  
 広幅MPGのウッドデッキ風ステップはよさこい祭りやイベント時に特設観客席としても利用する

**オーテ広場**  
 オーテピア多目的広場と一体となって市民広場を形成する。野外コンサートやバザール・よさこい祭りなどのイベント時にも極めて有用なオープンスペースとなる

追手筋～帯屋町～おびさんロードの南北方向のつながりだけでなく、オーテピア～オーテテラス～ひろめ市場の東西方向にも街がつながり、人々が行き交う

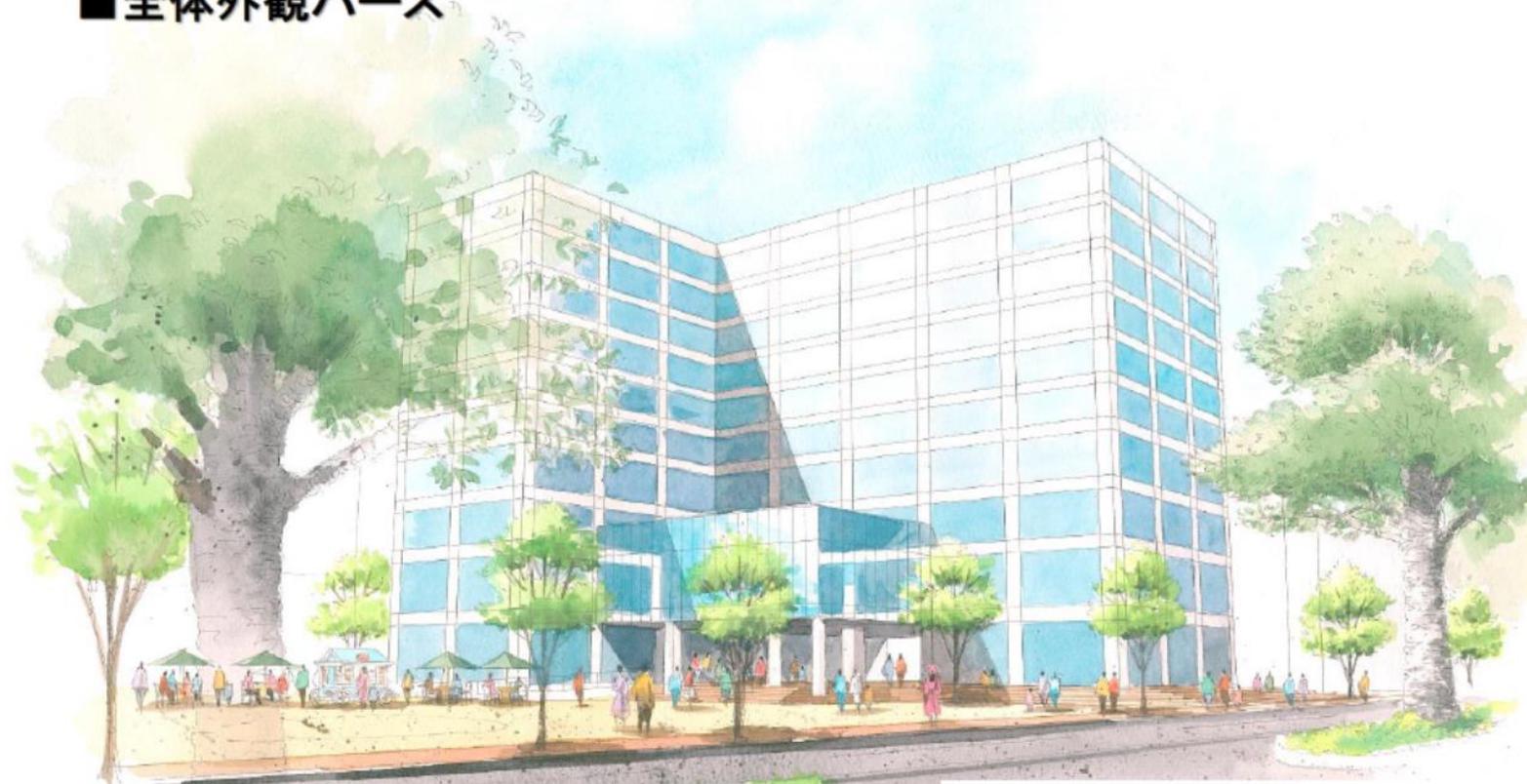
**バザールプロムナード**  
 屋台店舗の並ぶバザールプロムナードは、ひろめ市場、日曜市とも連続して回遊性の市場空間を拡げる

**オーテテラス**  
 ウッドデッキの吹通しオープンスペースは高知の中心にゆとりと回遊性、求心力をもたらす屋内イベント広場としても使用される

1階 平面図 S=1/500

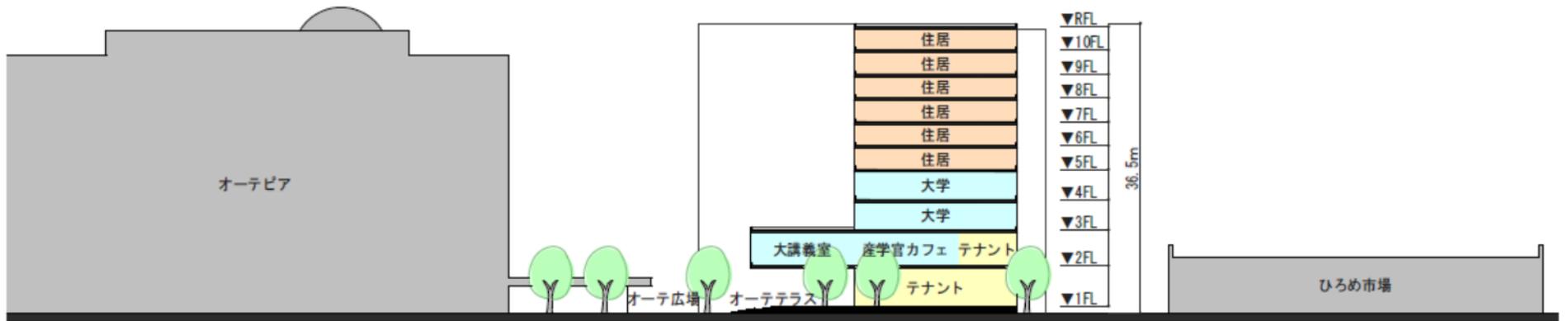
床面積 861.90㎡  
 555.10㎡ (オーテテラス)  
 計 1,417.00㎡

# ■全体外観パース



↑ 追手筋から多目的広場を経て建物入口を望む





東-西 断面図 S=1/500

## ＜資料＞用語説明

### ※1 高知県版 CCRC 構想

<https://www.kocopla.jp/info/dtl.php?ID=750> より引用

#### ＜基本コンセプト＞

高知県版CCRCは、「県外から移住者を呼び込む機能」を備えた「移住者と地域住民がともに健康でアクティブに暮らせるコミュニティ」として、都市部の健康でアクティブなシニア世代の方々の活力を県内での活動に活かしていただくことを狙いとしている。

そのため、移住者が、「土地を知り、文化を知り、人を知る」ため、移住直後から生活に慣れる時期、そして定着まで、一貫したサポートを行う事とする。また、各自の志向に応じて就業や趣味の活動、学びの等を選択・実践し、社会で生涯活躍し続ける環境や、医療や介護が必要になっても、地域内で安心して継続的にサービスを受ける事ができる環境を提供することで、移住者だけでなく値域住民がともに「生涯活躍」できる環境の整備を行うものとする。

今後、高知県内の豊富な地域資源や特性を活かし、多様なタイプ・規模の個性的なCCRCが整備されることが期待されるが、中期的には、それらがネットワークとして互いに連携をとることを想定している。そうすることで、相乗効果を発揮し、高知県全体がさらに魅力的な移住先へと進化することが期待できる。

#### ＜高知版CCRCの具体的な姿＞

都市部のアクティブシニアに高知のCCRCを移住先として選んでいただくためには、他地域のCCRCと異なる個性を生み出すために、二段階移住を提案。「県内に設置されるCCRCが共通して持ち合わせることを推奨するポイント」と「県全体で構築する特徴的な仕組」として、①地域に溶け込むCCRC、②助走期間の充実サポート、③大学等との連携、④人財誘致、⑤IoTの活用、⑥県内CCRCのネットワーク化等を上げている。

### ※2 総務省連携中枢都市圏構想

[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/jichi\\_gyousei/renkeichusutoshiken/index.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/renkeichusutoshiken/index.html) より引用

人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化し経済を持続可能なものとし、国民が安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするために、圏域の中心都市が近隣の市町村と連携し、コンパクト化とネットワーク化により、「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」及び「生活関連機能サービスの向上」を行うことで、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成する政策。

平成26年度から全国展開を行っている。

## 本市が考える提案事業を実施することによる効果

- 建物1階や敷地の一部を利用し、空間確保することで、広場機能を持たせ、中心市街地と歴史・文化施設がつながり、観光客や地域の人たちとの交流が、**魅力あふれる情報の広場に発展**
- 高知**大学のサテライトキャンパス**などの複合施設が立地
- 隣接するオーテピアや県立大学と共に、**知の拠点として産学官の連携強化**
- 高知大学の学生などと商店街の**新たなコミュニティの形成**



高知市中心市街地活性化基本計画の目標指標「居住人口」「歩行者交通量」の増加

商業の活性化や中心市街地活性化のための、まちづくりやにぎわいの創出に寄与

ご清聴ありがとうございました。